

「新アミノ酸分析研究会」第6回学術講演会プログラム

講演時間： 依頼講演 45分（講演 40分＋討論 5分）
一般講演 15分（講演 12分＋討論 3分）
パネルディスカッション 45分（話題提供 10分×3＋討論 15分）
ポスター発表 80分（コアタイム 40分）

会場：東京大学武田先端知ビル（東京都文京区本郷 7-3-1, TEL：03-3812-2111（代表））
http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_04_16_j.html

開会挨拶 9:25～9:30（会長：大江知行）

一般講演 I 9:30～10:15（座長：加藤 大）

- O-01 キャピラリー電気泳動による分子間相互作用および界面透過の速度解析
○宮部寛志、鈴木 望（立教大学理学部化学科）
- O-02 Unexpected reaction between tertiary amines and 4-fluoro-7-nitro-2,1,3-benzoxadiazole (NBD-F)
○Xiaomin Li¹, Zekun Yang¹, Muneki Isokawa¹, Chao Wang^{1,2}, Takashi Funatsu¹, Masanobu Uchiyama^{1,2}, and Makoto Tsunoda¹（¹Graduate School of Pharmaceutical Sciences, The University of Tokyo, ²Riken）
- O-03 タンパク質中のアミノ酸残基の老化に伴う経時的構造変化を可視化する解析法の確立
○定金 豊、祖父江友宏、地主将典（鈴鹿医療科学大学薬学部）

（休憩 10:15～10:25）

一般講演 II 10:25～11:10（座長：角田 誠）

- O-04 金属錯体添加を利用した電子移動解離タンデム質量分析法によるリン酸化ペプチドのアミノ酸配列解析
○浅川大樹¹、大坂一生²（¹産業技術総合研究所、²北陸先端科学技術大学院大学）
- O-05 高速液体クロマトグラフィーによる MRSA 薬 4 剤の簡便・迅速な血中濃度定量法の検討
田上香織¹、新小田直也¹、森川 剛²、東海林敦¹、○柳田顕郎¹（¹東京薬科大学薬学部、²JA 長野厚生連北信総合病院薬剤部）
- O-06 生体試料中 D-セリンの LC-MS/MS 定量法の開発と応用
○木下幸之助、山口順一（大正製薬株式会社 安全性・動態研究所）

（休憩・移動 11:10～11:15）

一般ポスター発表 I 11:15～11:55（40分）

P-01～P-26 奇数番号コアタイム（演題は次々ページに記載）

昼食休憩・幹事会 11:55～13:10

一般ポスター発表 II 13:10～13:50（40分）

P-01～P-26 偶数番号コアタイム（演題は次々ページに記載）

(休憩・移動 13:50~13:55)

パネルディスカッション 13:55~14:40 (司会：渡邊路維)

D-01 アミノ酸のDL分析

パネリスト： 岡本一郎 (株式会社ダイセル)、西岡亮太 (株式会社住化分析センター)、山口 努 (東京化成工業株式会社)

オブザーバー： 浜瀬健司 (九州大学大学院薬学研究院)

モデレーター： 渡邊路維 (渡辺化学工業株式会社)

一般講演III 14:40~15:10 (座長：轟木堅一郎)

O-07 二次元キラル HPLC による宇宙アミノ酸の分析

佐藤 裕¹、中内佑亮¹、古賀鈴依子¹、三次百合香^{1,2}、三田真史²、奈良岡浩^{3,4}、
○浜瀬健司^{1,4} (1九州大学大学院薬学研究院、2株式会社資生堂、3九州大学大学院理学研究院、4九州大学惑星微量有機化合物研究センター)

O-08 日本酒のアミノ酸度測定のための電気化学検出法の開発

○小谷 明、北村香苗、山本法央、袴田秀樹 (東京薬科大学薬学部)

(休憩 15:10~15:20)

依頼講演 I 15:20~16:05 (座長：加藤 愛)

L-01 イネの生産性を制御する窒素代謝の分子基盤

山谷知行 (東北大学研究推進本部)

一般講演IV 16:05~16:50 (座長：川原正博)

O-09 Catalytide の発見

○秋澤俊史¹、中村里菜¹、幡川祐資¹、谷口将済¹、小西元美¹、小嶋 絢²、徳増美穂³、山本雅³ (1摂南大学薬学部、2立命館大学薬学部、3沖縄科学技術大学院大学)

O-10 Tob1 タンパク質由来の Catalytide の立体構造解析

○小西元美、中村里菜、幡川祐資、谷口将済、田中龍一朗、秋澤俊史 (摂南大学薬学部)

O-11 Catalytide と β -アミロイドペプチドとの結合性

○谷口将済、中村里菜、西口杏奈、幡川祐資、小西元美、秋澤俊史 (摂南大学薬学部)

(休憩 16:50~17:00)

依頼講演 II 17:00~17:45 (座長：宮野 博)

L-02 誘導体化法を基盤とするバイオアナリシス研究

—アミノ酸の光学異性体分析を中心に—

豊岡利正 (静岡県立大学薬学部)

総会 17:45~17:55

懇親会 18:00~19:30 (東京大学武田先端知ビル)

一般ポスター発表演題 (P-01~P-26)

奇数番号コアタイム 11:15~11:55 (40分)

偶数番号コアタイム 13:10~13:50 (40分)

- P-01 計量トレーサビリティの確保されたアミノ酸混合標準液確立のための安定な調製条件の検討
○加藤 愛、山崎太一、加藤尚志、山中典子、井原俊英 (産業技術総合研究所)
- P-02 カテコールアミン含有化合物のアルカリ分解生成物の解析
○中島菜月¹、永村尚吾¹、安田 誠¹、重谷英寿²、福内友子¹、山岡法子¹、馬渡健一¹、金子希代子¹、中込和哉¹ (1 帝京大学薬学部、² 望星薬局)
- P-03 光重合性アクリルアミドゲルを用いるリン酸化化合物のオンライン濃縮マイクロチップ電気泳動法の開発
○山本佐知雄、姫野美幸、小林正弥、赤松美紀、木下充弘、鈴木茂生 (近畿大学薬学部)
- P-04 核酸アプタマーを固定した水性二相溶媒によるタンパク質のアフィニティー分離に関する基礎検討
○張替直輝、本田茉代、在間一将、四宮一総 (日本大学薬学部)
- P-05 ポリマー修飾モノリス型カラムを用いた DOXIL からの内包薬物の放出評価
○木本新人¹、東 達也¹、加藤 大² (1 東京理科大学薬学部、² 東京大学大学院薬学系研究科)
- P-06 簡便かつ高選択的な新規アミノ酸呈色法
○柴田孝之、椛島 力、廣谷真優、前田朋樹、甲斐雅亮 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科)
- P-07 エトキシカルボニル/エチルエステル誘導体化法 を用いたアミノ酸 GC 分析の定量性の評価と応用
○代継正和¹、中原千聡²、高橋耕平²、青木元秀²、内田達也²、梅村知也²、熊田英峰² (1 東京薬科大学大学院、² 東京薬科大学生命科学部)
- P-08 光学活性誘導体化LC-MS/MS法によるアミノ基特異的キラルメタボロミクスの開発
○高山卓大、轟木堅一郎、関 俊哲、水野 初、豊岡利正 (静岡県立大学薬学部)
- P-09 アミノ酸の光学分離能の向上を指向した誘導体化試薬の開発
○柳澤拓摩、高山卓大、轟木堅一郎、水野 初、関 俊哲、豊岡利正 (静岡県立大学薬学部)
- P-10 LC-MS/MS を使ったヒト膵臓病理切片中の高感度アミノ酸分析法開発
○岡本千聖¹、吉田寛郎¹、宮野 博¹、猪野義典²、平岡伸介²、水越利巳¹ (1 味の素株式会社イノベーション研究所、² 国立がん研究センター中央病院)
- P-11 LC/MS/MS 法による新規ケト酸分析法の確立
○野口和良、宮野 博、水越利巳、山田尚之 (味の素株式会社イノベーション研究所)
- P-12 血漿中への乳糜およびビリルビン添加が HPLC-ESI/MS によるアミノ酸濃度分析に与える影響
○中村英寛、陰山直子、吉田寛郎、森 妹子、水越利巳、宮野 博 (味の素株式会社イノベーション研究所)

- P-13 エピゲノム修飾解析のための、メチル化アミノ酸分析
○堂前 直、川田昭奈（理化学研究所環境資源科学研究センター）
- P-14 栄養飢餓状態で培養した PANC-1 代謝に対するアミノ酸メタボロミクス解析
○富田陵子¹、轟木堅一郎²、賀来祐美¹、巴山 忠¹、吉田秀幸¹、中島 学¹、能田 均¹、山口政俊¹、藤岡稔大¹（¹福岡大学薬学部、²静岡県立大学薬学部）
- P-15 安定同位体標識化クロレラを用いた多成分高精度分析法の開発
小林勇太、○上田一樹、轟木堅一郎、関 俊哲、津山尚宏、豊岡利正（静岡県立大学薬学部、福島県立医科大学医学部）
- P-16 抗体医薬のアフィニティー精製-高温逆相 LC 分析における高感度化および高精度化に関する検討
○山田朋宏、中野達基、工藤悠翔、轟木堅一郎、水野 初、関 俊哲、豊岡利正（静岡県立大学薬学部）
- P-17 生体試料中に含まれるジペプチド類の網羅的測定法の開発
○平山明由、曾我朋義（慶應義塾大学先端生命科学研究所）
- P-18 ジペプチドの網羅的分析に関する研究
○陰山直子、中村美奈、新保和高、宮野 博（味の素株式会社）
- P-19 食品中カルノシンの定量分析および肺障害に対する効果
田中健一郎、○川原正博（武蔵野大学薬学部）
- P-20 イミダゾールジペプチドによる反応性アルデヒド捕捉機構の解明
○竜野史哉、李 宣和、大江知行（東北大学大学院薬学研究科）
- P-21 イミダゾールジペプチド・求電子性化合物付加体の LC/ESI-SRM/MS 法の開発研究
○高間 葵、李 宣和、大江知行（東北大学大学院薬学研究科）
- P-22 Pyridoxamine inhibits lipid hydroperoxide-derived modifications to human serum albumin
○Atsushi Matsunaga, Hyunsook Kyung, Tomoyuki Oe, and Seon Hwa Lee
(Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Tohoku University)
- P-23 トリプシン様切断活性を有するプロテアーゼの標識基質の合成とその応用
○山本博之、豊田悠希、若松尚之、山口陽子、高橋朱夏、木村道夫（日本薬科大学薬学部）
- P-24 ANA/BTG3 由来 Catalytide のアミロイド-β 切断活性
○幡川祐資¹、中村里菜¹、谷口将済¹、小西元美¹、山本 雅²、秋澤俊史¹（¹摂南大学薬学部、²沖縄科学技術大学院大学）
- P-25 ネギ葉身部粘液に含まれる生理活性タンパク質の構造解析
○伴野詢太¹、山崎 崇¹、小川智久¹、村本光二¹、平山洋佑²、竹内敦子³、上田浩史³（¹東北大学大学院生命科学研究科、²株式会社アミノアップ化学、³（独）農研機構）
- P-26 抗腫瘍性ルナシンの大豆 2 S アルブミンからの生成機構の解明
○平垣内一子、小川智久、村本光二（東北大学大学院生命科学研究科）
- P-27 シロイヌナズナにおける D-アミノ酸アミノトランスフェラーゼの解析
○関根正恵、熊澤彬子、松本 碧、栗戸綺香、村上皓子、片根真澄、齋藤康昭、宮本哲也、本間 浩（北里大学薬学部）